

# GALLERY SEKI RYU

ギャラリー 石榴

桂 ゆき Yuki Katsura

- 1913年 東京・本郷千駄木町生まれ
- 1926年 東京府立第5高等女学校に入学。池上秀畝に日本画を学ぶ
- 1931年 女学校を卒業。帝展審査員となった中村研一に油絵を学ぶ
- 1932年 中村の紹介で東京美術学校教授・岡田三郎助のアトリエに通い、裸体デッサンを続ける
- 1933年 第20回光風会展に出品。アヴァンギャルド洋画研究所に通い始め藤田嗣治らの指導を受ける
- 1938年 九室会創立に発起人として参加
- 1944年 長谷川春子の呼びかけで、女流美術奉公隊の仕事を手伝う
- 1946年 三岸節子らと女流画家協会を創立
- 1947年 日本アヴァンギャルド美術家クラブの結成に参加
- 1951年 新宿区余丁町にアトリエを建てる
- 1956年 フランスに渡る
- 1958年 アフリカに渡り、その後渡米。ニューヨークに滞在する
- 1961年 帰国
- 1991年 急性心不全のため死去

## ■ 主な個展

- 2023年 「桂ゆき生誕110周年特別展示」 NUKAGA GALLERY、東京
- 2021年 「Yuki Katsura FIERCE AUTONOMY」 Alison Bradley Projects、ニューヨーク
- 2018年 「桂ゆき個展」 タカ・イシイ・ギャラリー ニューヨーク、ニューヨーク
- 2015年 「桂ゆき展」 東京画廊+BTAP、東京
- 2013年 「個展 生誕百年 桂ゆきーある寓話ー」 東京都現代美術館、東京
- 2007年 「桂ゆき展～コラージュとユーモアの女性作家～」 一宮市三岸節子記念美術館、愛

知

- 1998年「桂ゆきの世界—絵画とコラージュに見る女性作家のまなざし—」茨城県立近代美術館、茨城
- 1991年「桂ゆき展」下関市立美術館、山口
- 1989年「戦後美術の軌跡4 桂ゆき展」東京画廊、東京
- 1986年「物体とイメージの間・桂ゆき」西武百貨店池袋店ザ・コンテンポラリー・アート・ギャラリー、東京
- 1985年「桂ゆき展—紅絹のかたち」伊奈ギャラリー、京都
- 1980年「桂ゆき展」山口県立美術館、山口  
「桂ゆき展」伽藍洞ギャラリー、愛知
- 1979年「桂ゆき展 第1回展 1978-79年の作品より」東京画廊、東京  
「桂ゆき展 第2回展 1930年代、40年代の作品より」東京画廊、東京  
「桂ゆき展 第3回展 1950年代、60年代、70年代の作品より」東京画廊、東京
- 1974年「挿絵原稿とデッサンとコラージュ展」ギャラリー・ワタリ、東京  
「挿絵とデッサン展」今橋画廊、大阪  
「“仮の宿” 挿画による桂ゆき展」伽藍洞ギャラリー栄展、愛知
- 1968年「桂ユキ子 小品と余枝展」小田急美術サロン
- 1961年「個展 桂ユキ子」東京画廊、東京
- 1956年「桂ユキ子油絵個展」兜屋画廊、東京
- 1944年「桂ユキ子近作油絵展」美穂堂、東京
- 1943年「桂ユキ子 関西個展」青樹社  
「作品展」鞍山
- 1938年「桂ユキ子第1回展個展」日動画廊、東京（1943にも開催）
- 1935年「コラージュ個展」近代画廊、東京

## ■ 主なグループ展

- 2025年「開館30周年記念 未来／追想 千葉市美術館と現代美術」千葉市美術館、千葉
- 2023年「Action, Gesture, Paint: Women Artists and Global Abstraction 1940-70」  
Whitechapel Gallery、ロンドン
- 2021年「上野アーティストプロジェクト 2021『Everyday Life：わたしは生まれなおしている』」東京都美術館、東京
- 2019年「ART TAIPEI 2019 Biomorphism by women」台北（ギャラリー石榴より出展）  
「百年の編み手たち—流動する日本の近現代美術—」東京都現代美術館、東京
- 2017年「芥川紗織と『前衛』の女性」ギャラリー石榴、東京／長野

- 2016年「1945±5年」広島市現代美術館、兵庫県立美術館  
「Demythifying Japanese Women Artists—女たちは神話をほどく—」NUKAGA GALLERY、東京
- 2015–16年「人間表現を楽しむ25のとびら展」徳島県立近代美術館、徳島
- 2015年「わが愛憎の画家たち—針生一郎と戦後美術」宮城県美術館、宮城  
「戦後70年：もうひとつの1940年代美術」栃木県立美術館、栃木
- 2014年「おいしいアート展<食と美術の出会い>」横須賀美術館、神奈川  
「真岡発：瑛丸と前衛画家たち展—久保貞次郎と宇佐美コレクションを中心に」栃木県立美術館、栃木
- 2012年「どうぶつ集まれ」徳島県立近代美術館、徳島  
「生誕100年松本俊介展」神奈川県立近代美術館葉山、神奈川  
「美術にぶるっ！<ベストコレクション 日本近代美術の100年>」東京国立近代美術館、東京  
「紙上の技法学<筑波大学所蔵石井コレクション>」武蔵野市吉祥寺美術館、東京
- 2011年「画家たちの二十歳の原点」平塚市美術館、下関市立美術館ほか  
「輝く女たち—その強さ、儂さ、複雑さ」茨城県近代美術館、茨城
- 2009年「アートのふしぎ展」石橋美術館、東京
- 2007年「世田谷時代1946–1954の岡本太郎」世田谷美術館、東京  
「親と子で見る《絵本原画》展—宮城県美術館コレクションから—」山梨県立美術館、山梨  
「茨城県立近代美術館コレクション展+筑波大学所蔵石井コレクション展」茨城県つくば美術館、茨城
- 2006年「家族の情景展 日本の家族を考える」茨城県立近代美術館、茨城  
「迷宮+美術館<コレクター砂孟富男が見た20世紀美術>」群馬県立近代美術館、群馬  
「縄文と現代<二つの時代をつなぐ『かたち』と『こころ』>」青森県立美術館、青森
- 2005年「前衛の女性1950–1975」栃木県立美術館、栃木  
「東京府美術館の時代1926–1970」東京都現代美術館、東京  
「呼応する精神—ギブソン・ギャラリー収蔵品で見る1960年代の日本現代美術」  
ニューヨーク州立大学ポツダム校ギブソン・ギャラリー、ニューヨーク
- 2004年「20世紀美術にみる人間展」三重県立美術館、三重  
「木のワンダーランド」北海道立帯広美術館、北海道
- 2003年「動物、アートとなる」群馬県立館林美術館、群馬  
「あるサラリーマン・コレクションの軌跡<戦後日本美術の場所>」周南市美術博物館、山口

- 「素朴と幻想」 静岡アートギャラリー、静岡
- 2001年 「やすらぎと微笑の美術」 神宮美術館、三重  
「奔る女たち 女性画家の戦前・戦後 1930-1950年代」 栃木県立美術館、栃木
- 2000年 「日本洋画のれきし展」 茨城県近代美術館、茨城  
「作品を読む一足で読む、耳で読む、画面で読むー」 板橋区立美術館、東京  
「日本美術の近代性」 シルクンストハレ、フランクフルト  
「日本美術の20世紀 美術が語るこの100年」 東京都現代美術館、東京  
「作品を読むく足で読む、耳で読む、画面で読む>」 板橋区立美術館、東京
- 1999年 「色と形のカレイドスコープ」 目黒区美術館、東京  
「脱・『現代美術教養論』」 板橋区立美術館、東京
- 1998年 「名作でたどる近代日本洋画の歩み展」 高知県立美術館、高知  
「戦後日本のリアリズム 1945-1960」 名古屋市美術館、愛知  
「絵本原画の世界《こどものとも》の絵画表現」 宮城県美術館ほか  
「美と土俗 近現代美術の中の“日本”」 北海道立旭川美術館、北海道
- 1997年 「揺れる女/揺らぐイメージフェミニズムの誕生から現代まで」 栃木県立美術館、栃木  
「現代作家の版画」 跡見学園女子大学花蹊記念資料館、東京
- 1996年 「日本の美術ーよみがえる 1964年」 東京都現代美術館、東京  
「前衛作家の10年ーその自己変容と持続ー」 板橋区立美術館、東京  
「Female Identity 女はどう表現されてきたか」 岡山県立美術館、岡山  
「女性の肖像ー日本現代美術の顔ー」 渋谷区立松濤美術館、東京
- 1995年 「動物美術館 20世紀日本の生きもののイメージ」 三重県立美術美術館、三重  
「ヒロシマ以降ー現代美術からのメッセージ」 広島市現代美術館、広島  
「現代美術の手法 (1) コラージュ」 練馬区立美術館、東京
- 1992年 「北九州をめぐる幻想絵画展」 北九州市立美術館、福岡  
「日本の抽象絵画ー1910-1945ー」 板橋区立美術館、東京
- 1991年 「昭和の前衛ー表現の冒険者たちー」 板橋区立美術館、東京
- 1990年 「'60年代現代美術の断面展」 ギャラリー上田、東京  
「昭和の前衛」 板橋区立美術館、東京  
「アヴァンギャルドの森」 板橋区立美術館、東京  
「幻想の力」 宮城県美術館、宮城  
「日本のシュルレアリスム 1925-1945」 名古屋市美術館、愛知
- 1989年 「昭和の美術」 東京国立近代美術館、東京  
「美術の国の人形たち展」 宮城県美術館、宮城  
「パレットと絵画にみる近代日本の洋画家たち」 岡崎市美術館、愛知  
「昭和の洋画 100選」 銀座松坂屋ほか

- 1988年「昭和前期洋画の歩み展」姫路市立美術館、兵庫  
「・・・ing Theater part II」スペース1+11+1、東京  
「近代美術にみる人間像」東京国立近代美術館、東京
- 1987年「日本の名画100年展」千葉県立美術館ほか  
「世界の有名画家10代の作品展」おかざき世界こども美術博物館、愛知
- 1986年「9・個の視点、日韓女性作家の表現」村松画廊、東京  
「近代日本の美術」東京国立近代美術館、東京
- 1985年「現代彫刻の歩みー木の造形展」神奈川県民ホールギャラリー、神奈川  
「第3回ヒューマン・ドキュメンツ'84-'85展」東京画廊、東京  
「木の美ー絵画と彫刻のあいだ展」北海道立旭川美術館、北海道  
「今日の作家'85展・インスタレーションとは何か」横浜市民ギャラリー、神奈川
- 1984年「現代絵画の20年ー1960~70年代の洋画と新しい『平面』芸術の動向ー」群馬県立近代美術館、群馬  
「戦後の名作に見る人間像 生きること・描くこと」福島県立美術館、福島  
「現代のユーモア展」埼玉県立近代美術館、埼玉  
「クリエイティブ'84ー10人の女性画家」朝日ギャラリー、東京
- 1983年「第14回日動展」日動画廊、東京（1987年にも出品）
- 1982年「『愁』出版記念展」ギャラリー四季、神奈川  
「近代日本の美術 1945年以後」東京国立近代美術館、東京  
「近代日本の美術 1945年以前」東京国立近代美術館、東京  
「現代日本美術の展望ー油絵」富山県立近代美術館、富山  
「日本の洋画展ー戦後30年の展望ー」広島県立美術館、広島
- 1981年「第1回現代の女流画家展」日本橋高島屋、大阪、京都、横浜に巡回（1982、1983、1986-1988、1990年にも出品）  
「現代日本の美術」宮城県美術館、宮城  
「1960年代ー現代美術の転換期」東京国立近代美術館、京都国立近代美術館に巡回
- 1980年「新収蔵美術作品の展示」東京国立近代美術館、東京  
「現代日本洋画展ー戦前から戦後へー」群馬県立近代美術館、群馬  
「れ・ふぁーむ展」伽藍洞ギャラリー、愛知（1984、1986、1987年にも出品）  
「近代洋画の人間像展」山口県立美術館、山口  
「日本の洋画ー戦後20年の足跡ー」京都市美術館、京都
- 1979年「現代美術・戦後展」神奈川県立近代美術館、神奈川
- 1978年「現代美術のパノラマ展」桜画廊、東京  
「日本美術家連盟 中国訪問団絵画展」銀座松坂屋、東京
- 1977年「<顔>派集合展」和光、東京  
「現代美術のパイオニア展」東京セントラル美術館、東京

- 「日本の現代美術－国内美術と国際美術と－」栃木県立美術館、栃木
- 1976年「戦前の前衛展 二科賞樗牛賞の作家とその周辺…」東京都美術館、東京  
「今日の精鋭 120 人展」東京セントラル美術館、東京
- 1973年「20年の百人展」養清堂画廊、東京
- 1972年「新収蔵作品の展示」東京国立近代美術館、東京
- 1971年「今日の 100 人展」兵庫県立近代美術館、兵庫
- 1970年「女流五人展」淀画廊、大阪  
「第 24 回新樹会展」日本橋三越、東京（1971–1976 年にも出品）
- 1968年「洋画女流大家展」若宮画廊、神奈川  
「女流秀作美術展」東急百貨店日本橋店、東京（1970、1971 年にも出品）  
「第 1 回女流五人展」天満屋岡山店、岡山（1969–1971、1973、1975 年にも出品）  
「第 5 回太陽展」日動画廊、東京（1969–1974、1976、1977、1979、1981、1986 年にも出品）
- 1967年「近代日本の水彩と素描展」東京国立近代美術館、東京
- 1966年「日本ガラス協会展」ギャラリー・アルカンシェル、東京（1977 年まで出品）  
「東京国際美術展」京王百貨店、東京  
「女流五人展」中日ギャラリー、愛知
- 1964年「TOKYO 1964」東京画廊、東京
- 1963年「日本の抽象絵画」国立近代美術館、東京
- 1962年「近代日本の造形 油絵と彫刻」国立近代美術館、東京  
「女流作家新作展」美目画廊
- 1961年「第 27 回コーコラン・ビエンナーレ展」コーコラン美術館、ワシントン  
「1961 年ピッツバーグ国際絵画彫刻展」カーネギー・インスティテュート、ペンシルベニア
- 1960年「アブストラクト・ジャパニーズ・アート展」グレス・ギャラリー、ワシントン  
「日米修好通商百年記念 日米女流美術交歓展」リバーサイド美術館、ニューヨーク
- 1959年「プレミオ・リソーネ国際展出品国内店」銀座画廊、東京  
「戦後の秀作展」国立近代美術館、東京  
「第 11 回プレミオ・リソーネ国際展」ミラノ
- 1957年「ミクロ・サロン展」イリス・クレール画廊、パリ  
「第 1 回東京国際版画ビエンナーレ」読売会館、東京
- 1956年「モダンアートと掛軸展」養清堂画廊、東京
- 1955年「第 18 回国際水彩画ビエンナーレ」ブルックリン美術館、ニューヨーク  
「カゼインカラー現代 25 人展」資生堂画廊、東京  
「山口県東京案内所 防長美術展覧会」日本橋三越、東京  
「アートクラブ・グループ展」なびす画廊、東京

- 1954年「八人展」養清堂画廊、東京  
「第1回現代日本美術展」東京都美術館、東京(1956、1961、1964、1969年にも出品)  
「水彩と素描」国立近代美術館、東京
- 1953年「第2回日本国際美術展」東京都美術館、東京(1955、1961、1963、1965、1967年にも出品)  
「抽象と幻想展」国立近代美術館、東京
- 1952年「集団昂小品展」タケミヤ画廊、東京  
「日本近代美術展 近代絵画の回顧と展望」国立近代美術館、東京
- 1951年「日米交換美術30人展」日本橋三越、東京  
「二科九室展」日本橋三越、東京
- 1950年「第1回選抜優秀美術展覧会」日本橋三越、東京(1953、1955、1956-1957、1962年にも出品)
- 1949年「第3回現代美術総合展」東京都美術館、東京
- 1948年「日本アヴァンギャルド美術家クラブ主催モダンアート展」東京都美術館、東京(1950年にも出品)
- 1947年「第1回美術団体連合展」東京都美術館、東京(1949-1950年にも出品)  
「第1回アンデパンダン女流画家協会展覧会」東京都美術館、東京(1948-1952、1954年にも出品)
- 1946年「現代女流画家展」北荘画廊、東京
- 1945年「陸軍美術展」東京都美術館、東京  
「第1回女流美術家協会展」日本橋三越、東京
- 1944年「井上長三郎・伊藤久三郎・桂ユキ子・山本敬輔近作展」阪急、大阪
- 1943年「戦ふ少年兵」新宿三越ほか、東京
- 1940年「紀元二千六百年 奉祝美術展覧会」東京府美術館、東京
- 1939年「第1回九室会展覧会」白木屋、東京(1940、1941、1943年にも出品)
- 1936年「二科会女流展」天城画廊、東京
- 1935年「第22回二科展」東京府美術館、東京(1936、1938-1956年にも出品)
- 1933年「第20回光風展」東京府美術館、東京

■ コレクション 50音順

愛知県美術館、愛知  
石巻市博物館、宮城  
板橋区立美術館、東京

茨城県近代美術館、茨城  
いわき市立美術館、福島県  
宇都宮美術館、栃木  
大川美術館、群馬  
大阪中之島美術館、大阪  
大分県立美術館、大分  
呉市立美術館、広島  
埼玉県立近代美術館、埼玉  
下関市立美術館、山口  
高松市美術館、香川  
敦井美術館、新潟  
東京都国立近代美術館、東京  
東京都現代美術館、東京  
徳島県立近代美術館、徳島  
栃木県立美術館、栃木  
長崎県美術館、長崎  
奈良県立美術館、奈良  
新潟県立近代美術館、新潟  
府中市美術館、東京  
福岡県立美術館、福岡  
福岡市美術館、福岡  
福島県立美術館、福島  
北海道立旭川美術館、北海道  
北海道立近代美術館、北海道  
広島県立美術館、広島  
三重県立美術館、三重  
宮崎県立美術館、宮崎  
山口県立美術館、山口  
横浜美術館、神奈川

アリゾナ大学美術館、アリゾナ  
サンフランシスコ近代美術館、サンフランシスコ  
ブルックリン美術館、ニューヨーク